

墨 田 区 基 本 構 想

(案)

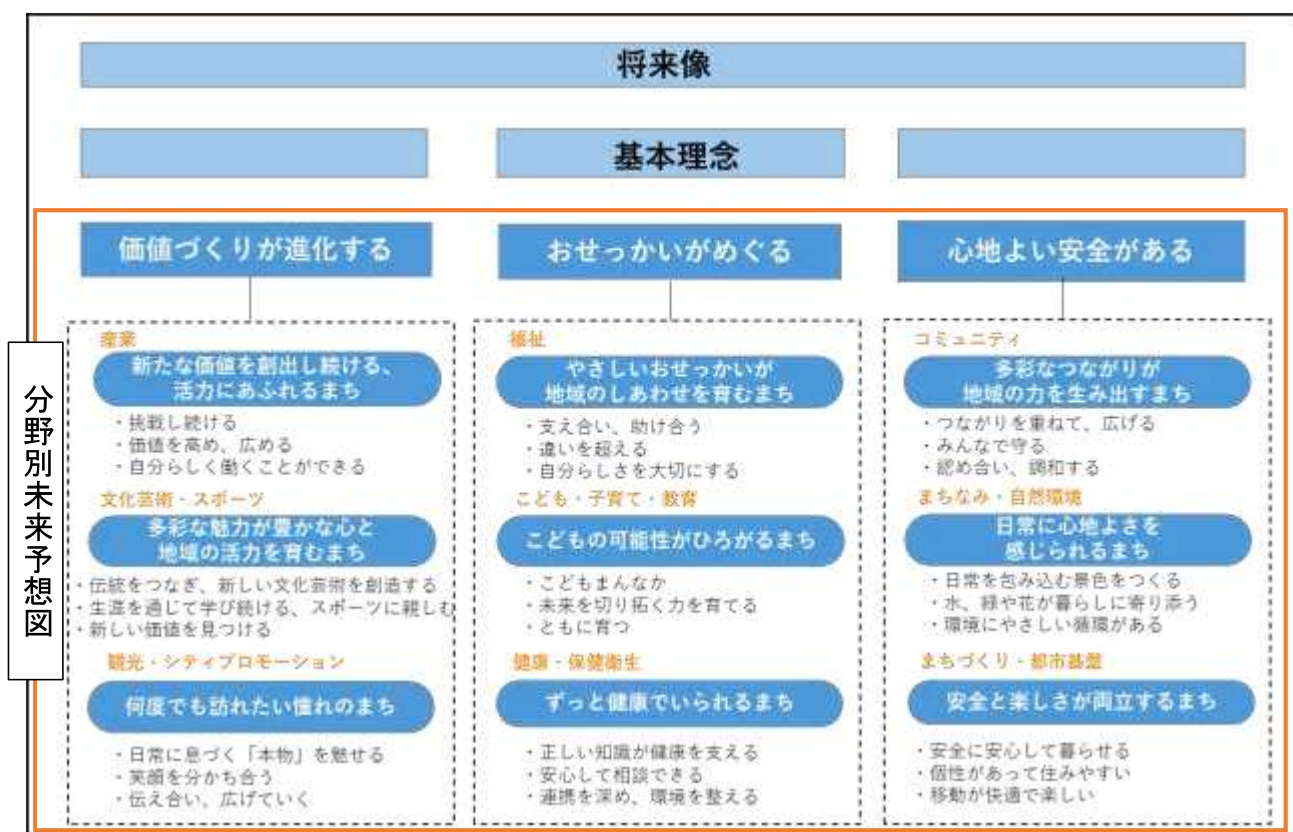
答申にあたって

目次

序章

基本構想とは

全体の構成



第 1 章 未来のすみだと基本理念

はじめに

策定の背景など

2035年のすみだ

(仮置)

将来像（キャッチフレーズ）

2035年のすみだの姿
説明文

まちづくりの基本理念

「2035年のすみだ」を実現するため、すべての分野で大切にすべき考え方として、基本理念を掲げます。

①

#####。

②

#####。

③

#####。

将来展望

人口推計関連

- 高齢化の進行（認知症対策含む）
- コミュニティの担い手不足
- 少子化への対応（こどもまんなかの推進）
- 外国人人口の増加
- 激甚化する災害への備え
- 産業構造の転換
- デジタルが当たり前の社会（DX）
- 環境の視点（GX、SDGs）

第 2 章 分野別未来像

基本目標Ⅰ 価値づくりが進化する

価値づくりが進化する、時代の変化、その時々ニーズを捉え、アップデートし続けるまち。歴史や伝統を大切にしながらも、組織を超えて、分野を超えて、人と人とのつながりの中で、新しい価値を創り、まちの魅力を高める挑戦が広がるまちになっています。

すみだで働く人たちは、自分らしく働ける環境で、日々の仕事に働きがいを感じています。こどもも高齢者も、障がいの有無に関わらず、誰もが笑顔でスポーツに親しみ、文化芸術を楽しんでいます。まちのそこかしこに、気軽につながれる場がある、仲間がいる、すみだにぎわいと活力であふれ、そんな魅力に惹きつけられた多くの人がまちを訪れています。

産業振興

新たな価値を創出し続ける、活力にあふれるまち

文化芸術・スポーツ

多彩な魅力が豊かな心と地域の活力を育むまち

観光・シティプロモーション

何度でも訪れたい憧れのまち

産業振興

新たな価値を創出し続ける、活力にあふれるまち

製品の製造だけでなく、素材にひと手間をかけて価値を高める「すみだのものづくり」。ものづくりのまちとして培われてきた技術・技能を礎に、人と人とのつながりによる垣根を越えた連携を通じて、時代に合わせた多様なニーズに応える、新しい価値づくりに挑み続けています。事業者の活動を地域全体でサポートして、その価値を高め、広めていくとともに、誰もが自分らしく働き続けられるまちをめざします。

◆ 挑戦し続ける

時代の変化を捉えながら、産業構造の転換、技術の革新に適応していくことが、産業の活力につながります。ものづくりから消費に至るまで、既存事業者も新規創業者も、誰もがチャレンジできる環境をつくれます。

◆ 価値を高め、広める

商品やサービスに込められた思い・背景を、すみだの魅力として地域ぐるみで発信することで、その価値を高め、広めていきます。商業が地域を盛り上げ、つながりの中で価値づくりの循環を生み出す、地産地商のまちをつくれます。

◆ 自分らしく働くことができる

子育て中の人や高齢の方、障がいの有無や性別に関わらず、一人ひとりが自身の特性に合わせて働き方を選択でき、自分の能力を十分に発揮できるまちをつくれます。

文化芸術・スポーツ

多彩な魅力が豊かな心と地域の活力を育むまち

郷土の歴史・文化が受け継がれるとともに、北斎や隅田川、音楽などの地域資源を活用した新たな文化芸術活動や、自身の興味・関心に合わせたスポーツ活動が広がり、区民は心も身体も健やかな生活を送っています。誰もが身近に文化芸術に触れ、気軽にスポーツに親しめるまちをめざします。

◆ 伝統をつなぎ、新しい文化芸術を創造する

歴史の中で培われた伝統・文化を成熟させ、次の世代へとつないでいきます。区民が多彩な文化に触れて、見て、また、自ら表現できる機会をつくり、新しい文化・芸術が生まれる土壌を育みます。

◆ 生涯を通じて学び続ける、スポーツに親しむ

あらゆる人が生涯にわたって、自分の興味・関心・適性・状況に合わせて、真剣に、本気で取り組みたいという気持ちにも、何か新しいことをしてみたいという思いにも応えられる、生涯学習・生涯スポーツに親しめるまちをつくれます。

◆ 新しい価値観を見つける

文化、芸術、スポーツは、世代を超えて、多様な背景を持つ人々をつなげて、新しい視点に気づき、価値観を創り出す力を持っています。分野を超えたつながりを深め、地域の活力とにぎわいをつくれます。

観光・シティプロモーション

何度でも訪れたい憧れのまち

国内外から多くの人がすみだを訪れることで、地域の経済が活性化し、新しいつながりが生まれ続けています。暮らす、働く人たちのすみだへの愛着と誇りが高まり、誰もが一度は訪れてみたい、一度来た人はまた来たい、そして、いつかは住んでみたい、憧れのまちになっています。

◆ 日常に息づく「本物」を魅せる

大相撲、花火、ものづくりなど、江戸を起源とする観光資源、すみだトリフォニーホールや東京スカイツリーなどの文化観光拠点に加え、地域のお祭りや豊かな水辺など、すみだの日常には多彩な魅力があふれています。様々な資源が連携し、重なり合うことで、まちの魅力を高めていきます。

◆ 笑顔を分かち合う

まちを挙げたあたたかい歓迎が「また来たい」につながります。すみだに暮らす、働く人たちが、訪れた人を笑顔で迎えることができるよう、相互の気づかい・思いやりを大切にしながら、楽しさを共有し、交流が生まれる環境づくりを進めます。

◆ 伝え合い、広げていく

より魅力的なすみだの実現は、暮らす、働く一人ひとりが、まちの良さを知るところから始まります。地域に関心を向け、自ら発信したくなるようなしくみづくりに取り組みます。

基本目標Ⅱ おせっかいがめぐる

おせっかいがめぐる、時代が移り変わっても、人の温もりとやさしさにあふれたまち。困っているご近所さんを気かけ、力になりたいと思う気持ちで、相手に寄り添って行動する、そんなおせっかいがまち全体に広がり、助けてもらった人がいつかは助ける側になる、そんなやさしさがめぐるまちになっています。

こどもたちは地域全体にあたたく見守られながら、豊かな人間性と社会性を身に着け、健やかに成長しています。区民一人ひとりが自分の健康を意識して、楽しみながら、こころと身体の健康づくりに取り組んでいます。自分らしくいられる場と、力を活かせる出番があることで、誰もが自分の居場所をすみだの中で見つけています。

福祉

やさしいおせっかいが地域のしあわせを育むまち

こども・子育て・教育

こどもの可能性がひろがるまち

健康・保健衛生

ずっと健康でいられるまち

福祉

やさしいおせっかいが地域のしあわせを育むまち

人生100年時代を迎え、一人ひとりが重ねてきた経験、抱えている課題も様々になっています。つながりの中で、誰もが自分らしくいられる居場所を地域の中で見つけ、正しい理解のもとに、他人のために行動することができる地域共生社会をめざします。

◆ 支え合い、助け合う

すべての人が心地よく過ごせるように、気軽に悩みを打ち明けることができ、また、優しく手を差し伸べることができる、困っている人を見つけた時に、ひとりぼっちにしない地域をつくれます。

◆ 違いを超える

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人が、相互に理解を深めるため、コミュニケーションをとり、支え合う、「心のバリアフリー」が体现されたまちをつくれます。

◆ 自分らしさを大切にする

自分自身のことを理解し、大切にし、受け入れ、地域の一員として活躍しながら、できないことは周囲を頼り、住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けられるまちをつくれます。

こども・子育て・教育

こどもの可能性がひろがるまち

こどもは無限の可能性を秘めています。こどもたち自身が、将来に対して夢と希望を持ち、社会の一員として活躍する未来を具体的に思い描き、目標に向かって挑戦していくことができるよう、地域でこどもの健やかな育ちを支え、ともに成長していくことができるまちになっています。

◆ こどもまんなか

未来を担うこどもたちが、暮らし続けたい、地域で活躍したいと思えるよう、その意見を尊重していきます。妊娠期から学齢期に至るまで、切れ目のない支援の中で、こども、若者が地域で伸び伸びと過ごし、健やかな心を育むことができます、こどもの最善の利益を優先するまちをつくります。

◆ 未来を切り拓く力を育てる

社会情勢が激しく変化する世の中では、自ら考え、行動できる力が求められます。防災・ものづくりや伝統文化など、地域の特色を活かした教育や、様々な機会、体験を通じて、こどもたちが意欲を持って学び、視野を広げ、課題を解決する力を身に付けていける環境をつくります。

◆ とともに育つ

家庭や地域がつながりながら、あたたかくこどもの成長を見守り、支えることが、豊かな人間性や社会性を育みます。子育て、教育を通じて、保護者や地域もこどもとともに成長し、また、その成長を共感、喜び合える地域をつくります。

健康・保健衛生

ずっと健康でいられるまち

健康に関する情報が分かりやすく提供され、気軽に参加できる場があることで、誰もが積極的に健康づくりに取り組んでいます。医療・福祉・地域・行政などのつながりの充実により、一人ひとりの年齢や特性に合った適切な支援を受けられる環境が整い、生涯にわたって健康で暮らし続けられるまちになっています。

◆ 正しい知識が健康を支える

健康長寿の実現には、健康に関心を向け、正しい知識を持ち、良い生活習慣を心がけることが重要です。最初の一步の後押しをするとともに、個人でも、グループでも、ニーズに合わせて楽しく健康づくりに取り組めるまちをつくります。

◆ 安心して相談できる

こころや身体の悩みを相談するには、相談相手に対する信頼や安心が不可欠です。地域の中での相談しやすい関係づくりや、内容に応じて適切な相談先へとつながるしくみづくりを進めます。

◆ 連携を深め、環境を整える

食品衛生や環境衛生水準の維持・向上を図り、保健衛生における安全と安心を確保します。また、普段から、関係者の連携を深め、いざという時に区民のいのちと健康を守る体制をつくります。

基本目標Ⅲ 心地よい安全がある

心地よい安全がある、災害などの危険に備えつつ、楽しく暮らせる利便性の高いまち。愛着を感じられる個性あるまちなみの中で、あいさつを交わす声が聞こえ、何かがあった時には声を掛け合える、安心感を抱きながら、穏やかな日々が流れる、居心地のいいまちになっています。

心にやすらぎを感じられる風景づくりが進み、水辺を散策しながら、みどりや花に触れるなど、誰もがまち歩きを楽しんでいます。災害や犯罪など、いざという時にも、ともに助け合い、いのちが守られる環境が整い、区民は安心して暮らしています。多彩なコミュニティの重なりが、すみだの地域力をさらに高めています。

コミュニティ

多彩なつながりが地域の力を生み出すまち

まちなみ・自然環境

日常に心地よさを感じられるまち

まちづくり・都市基盤

安全と楽しさが両立するまち

コミュニティ

多彩なつながりが地域の力を生み出すまち

デジタル技術の社会実装や国際化がさらに進展し、コミュニティのあり方も多様化していきます。既存のコミュニティと新しいコミュニティがゆるやかに重なり合いながら、人と人とのつながりを深め、地域の風情を守りつつ、課題に向き合い、解決していくまちをめざします。

◆ つながりを重ねて、広げる

地縁・学校・趣味・防災・福祉、すみだには人とつながるきっかけがたくさんあります。コミュニティ活動の重要性、担っている人々の努力を理解し、また、新たに参加する人の不安を受け止め、互いに壁を取り払いながら、様々な分野の交流の輪が重なり、広がっていくしくみをつくります。

◆ みんなで守る

正しく防災や防犯への理解を深め、下町らしい人と人との関わり合いの中で、いざという時は地域が一丸となって助け合える、自助・共助・公助の連携による、安全で安心なまちをつくります。

◆ 認め合い、調和する

年齢や性別、障がいの有無、人種や国籍を超えて、互いの違いを認め合い、相手のことを尊重し、思いやりながら、穏やかな平和の中で、ともに暮らせる地域をつくります。

まちなみ・自然環境

日常に心地よさを感じられるまち

普段の暮らしにおいても、豊かな水辺や江戸情緒を感じられ、地域で活動する人々のふるまいも含め、心地よく過ごせる風景が生まれています。大切な地球環境を次世代に引き継ぐため、区民や事業者が、環境との共生を意識して、できることに取り組むまちをめざします。

◆ 日常を包み込む景色をつくる

工場と住宅、新しいものと古いものなど、多様な色が共存し、混ざり合う中で、人々の普段の暮らしまでもがやさしく包み込まれるような、心に残るまちなみをつくります。

◆ 水、緑や花が暮らしに寄り添う

水辺と公園・まちがつながり、こどもも高齢者も、誰もが身近に水、緑や花に親しめる環境をつくります。日常に彩りを感じながら、楽しく遊び、穏やかに過ごせる場をつくるとともに、たくさんの人が訪れ、交流が生まれるまちをつくります。

◆ 環境にやさしい循環がある

区民も事業者も、一人ひとりの小さな行動の積み重ねが環境に影響を与えます。ゴミの分別、雨水の利活用、再生可能エネルギーの使用など、地域全体で環境にやさしい循環が広がるしくみをつくります。

まちづくり・都市基盤

安全と楽しさが両立するまち

人々のいのちを守る、災害に強く、復元力が高いまちが整備され、誰もが安心して暮らしています。区内それぞれのエリアごとの個性を際立たせながら、職・住・学・遊の様々な都市機能が調和して、ライフスタイルに合わせて自由に楽しめるまちになっています。

◆ 安全に安心して暮らせる

すべての人が協力して、様々な手法を活用しながら、建物の不燃化や耐震化、避難場所の確保等に取り組み、地震・火災・水害など、あらゆる災害からいのちが守られ、早期に復旧・復興できるまちをつくれます。

◆ 個性があって住みやすい

それぞれの地域ごとの成り立ちや個性を活かし、町工場や商店、住宅などが、混在しながら調和できる環境をつくれます。暮らしに欠かせない様々な都市機能が身近にあり、利便性が高く、あらゆる世代が暮らしやすく、長く住み続けられるまちをつくれます。

◆ 移動が快適で楽しい

様々な移動手段に応じた適切な環境が整備され、子育て世帯も高齢者、障がい者も、誰もが自由・安全に移動できるまちをめざします。歩いて楽しい、まちなかで交流が生まれる、歩きたくなるまちづくりを進めます。